

自己点検・評価「多摩美術大学 2000-2003」学生支援G議事録

- ・ 日 時：2004.4.28（水）10:30～11:30
- ・ 場 所：八王子本館小会議室
- ・ 出席者：竹田光幸（彫刻学科）、伊藤孚（工芸学科）、福島勝則（映像演劇学科）、中野嘉之（学生部長）、植村博（学生部次長）、田中誠二（造形表現学部事務課長）、畔上洋一（就職課長）（川崎学生部事務部長と交代）（事務担当・学生課 伊藤）

・ 議事概要

本グループのグループ長を、中野学生部長に依頼することとし、承認された。

続けて、配付した資料に基づき、本グループで検討する事項について項目をあげ、検討した。

- ・ 前回の自己点検評価報告書発刊以降にはじまった事業（学生相談室、ボランティア活動等）については今回項目を追加する必要がある。
- ・ 前回は報告されていなかった「就職支援」についても、「入学・卒業グループ」で取り扱うデータ的な内容とは別に、学生支援の切り口からこのグループで検討していきたい。
- ・ 上野毛キャンパスの学生数も増えてきていることから、今回は八王子と上野毛のキャンパス双方における学生支援のデータを統一して掲載することとした。上野毛キャンパスの具体的な掲載項目については、上野毛キャンパス所属のメンバーで検討し、報告することとなった。
- ・ 研究室が抱えている学生支援の状況について、データ化されていない内容も多くある。今年度から学生課では「学生生活委員会」を立ち上げるので、その委員会を通して各研究室の学生支援の内容についても情報を集め、このグループで検討することとなった。
- ・ 学生会やクラブ活動についても、データをあげて検討する必要があることが確認された。
- ・ 学生からの大学評価についても、実施することが必要ではないかとの提案があった。

これらの事項について整理し、次回の会議で「現状分析シート」の内容を正式に決定することとなった。

議事終了後、自己点検・評価部会より、次の部会については5月19日（水）の開催が予定されていることが報告された。

次回のグループ会議開催は、5月7日（金）12:50～13:30を予定している。